

## 事務局だより

会員数 687名(令和4年4月末現在)  
契約額 4,100万2,882円  
(令和4年4月分の額)

### 令和4年度

### 定時総会・会員互助会総会終わる

令和4年度定時総会と第29回会員互助会総会は、5月27日（金）午後1時30分より貝塚市シルバー人材センター2階会議室で開催されました。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、昨年につき、3密（密閉・密集・密接）を避け、少人数・短時間で開催しました。

なお、詳しくは7月号に掲載します。

事故の撲滅にみんなで取り組もう！

=安全就業スローガン=

「いつまでも

働く喜び 無事故から」

「安全第1、事故は<sup>ゼロ</sup>0」を目指し、

安全適正就業に努めましょう

#### お願い

会員入会時に届けている住所や、緊急時の連絡先などで変更がある場合は、速やかに事務局へお届けください。

令和4年6月1日発行

貝塚市海塚1丁目17番20号  
(公社) 貝塚市シルバー人材センター

TEL 072-432-3620

FAX 072-436-3957

## 会員拡大にご協力をお願いします

入会会員が減少する状況で、大変苦慮しています。

みなさんのご近所やお知り合いまたお友達に「一緒にシルバーで就業しませんか」という、「口コミによる勧誘」が最も効果があると考えています。

概ね60歳以上で、元気で就業意欲のある人なら男女を問わず、お声掛けしていただき、会員獲得にご協力をお願いします。

今月の入会説明会は6月16日（木）です。

午後1時30分から、シルバー人材センター2階会議室で行います。

※パソコン、スマートフォンからインターネット経由の申し込みで随時入会もできます。

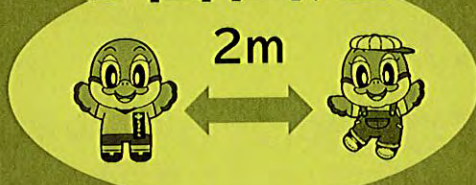
詳しくは、貝塚市シルバー人材センターのホームページをご覧ください。

（インターネットで「貝塚シルバー」と入力して検索）

## 新型コロナウイルス感染拡大防止

# 感染対策の徹底を！

### 3密回避



### マスクの着用



### 手洗い



### こまめな換気



	濃厚接触者の方(可能性がある方を含む)	濃厚接触者でない方(可能性がない方を含む)
無症状	<p>○同一世帯、ハイリスク施設、児童関連施設での濃厚接触</p> <p><b>原則、医療機関を受診せず、感染者との最終接触日から7日間の自宅待機(8日目解除)</b></p> <p>○上記以外の事業所等での濃厚接触</p> <p><b>自主的に一定期間、自宅待機など感染対策実施</b> (例えば、感染者との最終接触日から5日間待機など)</p>	<p>感染拡大傾向時など、知事が受検要請している期間は、無料検査事業の対象(感染不安がある場合) ※ 詳しくは「大阪府 無料検査」のホームページを参照</p>
有症状	<p><b>速やかに医療機関を受診</b></p> <p>○同居家族など:医師の判断により臨床症状のみで診断(疑似症患者) ○上記以外の方:医師の判断により検査で診断(確定患者) ※いずれも診断後の治療費は公費</p> <p>➢ ハイリスク施設(入院医療機関、高齢者・障がい児者入所施設)は、引き続き保健所が調査・検査を実施 ➢ 児童関連施設(保育園、幼稚園等)については、調査・検査について保健所に相談可(必要に応じて、保健所が検査を実施)</p>	<p><b>速やかに医療機関を受診</b></p>

## 新型コロナワクチンに便乗した詐欺に御注意ください

新型コロナウイルス感染症に係るワクチン接種のために必要としたり、金銭や個人情報をだましとろうとする詐欺にご注意ください。市区町村等が、ワクチン接種のために金銭や個人情報を電話・メールで求めることはありません。

## 貝塚市在住陽性者発生状況(直近1週間)

- ・5月15日(日曜日)発表 新規17人 累計8,544人
- ・5月14日(土曜日)発表 新規28人 累計8,527人
- ・5月13日(金曜日)発表 新規26人 累計8,499人
- ・5月12日(木曜日)発表 新規24人 累計8,473人
- ・5月11日(水曜日)発表 新規18人 累計8,449人
- ・5月10日(火曜日)発表 新規40人 累計8,431人
- ・5月9日(月曜日)発表 新規10人 累計8,391人

貝塚市ホームページより(2022.5.16)

# 熱中症予防のために

## 暑さを避ける

室内では・・・

- ▶ 扇風機やエアコンで温度を調節
- ▶ 遮光カーテン、すだれ、打ち水を利用
- ▶ 室温をこまめに確認
- ▶ WBGT値※も参考に

外出時には・・・

- ▶ 日傘や帽子の着用
- ▶ 日陰の利用、こまめな休憩
- ▶ 天気の良い日は、日中の外出をできるだけ控える

からだの蓄熱を避けるために

- ▶ 通気性のよい、吸湿性・速乾性のある衣服を着用する
- ▶ 保冷剤、氷、冷たいタオルなどで、からだを冷やす

※WBGT値：気温、湿度、輻射（放射）熱から算出される暑さの指数  
運動や作業の度合いに応じた基準値が定められています。  
環境省のホームページ（熱中症予防情報サイト）に、観測値と予想値が掲載されています。

## こまめに水分を補給する

室内でも、外出時でも、のどの渇きを感じなくても、こまめに水分・塩分、経口補水液※などを補給する

※ 水に食塩とブドウ糖を溶かしたもの

「熱中症」は、高温多湿な環境に長くいることで、徐々に体内の水分や塩分のバランスが崩れ、体温調節機能がうまく働かなくなり、体内に熱がこもった状態を指します。屋外だけでなく室内で何もしていないときでも発症し、救急搬送されたり、場合によっては死亡することもあります。

熱中症について正しい知識を身につけ、体調の変化に気をつけるとともに、周囲にも気を配り、熱中症による健康被害を防ぎましょう。



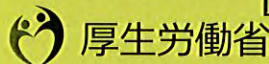
### 熱中症の症状

- めまい、立ちくらみ、手足のしびれ、筋肉のこむら返り、気分が悪い
  - 頭痛、吐き気、嘔吐、倦怠感、虚脱感、いつもと様子が違う
- 重症になると、
- 返事がおかしい、意識消失、けいれん、からだが熱い

詳しくは、厚生労働省ホームページ「熱中症関連情報」をご覧ください。

厚生労働省 熱中症

検索



高齢者は熱のこもった室内に長時間いて体内の温度が上昇したとしても、それを自覚できないがために気付かない間に熱中症に陥ってしまいます。また、高齢者は加齢の影響で体内の水分量が減少するので脱水状態に陥りやすく、結果として熱中症にかかりやすくなります。

熱中症は軽度であれば症状は目まいや立ちくらみなどですが、高齢者の場合は熱中症の影響により腎障害や脳血管疾患などの症状を併発することがあり、命に関わる状態になりやすいので注意しましょう。